

## 京丹後市文化芸術振興審議会 用語集

用語	解説
アーツカウンシル	高い専門性を持つスタッフが、芸術文化の振興を目的に、各種芸術文化事業への助成を中心とした支援を行う独立機関のことをいいます。
アーティスト・イン・レジデンス	国内外の芸術家がある地域に一定期間招へいし、滞在中の創作活動に専念できる環境を提供するもの。芸術家の育成を目的とするほか、地域住民と芸術家の交流や地域の活性化、異文化交流など様々な趣旨により実施される。
アートアンドテクノロジー	1966年初め、R.ラウシェンバーグとベル電話研究所のB.クリューバーの提案によって結成された、芸術と電気テクノロジーの結合の可能性を追求しようとした機関。
アートプロジェクト	おもに1990年代以降の日本で展開されている現代美術の活動を指す。芸術祭、ビエンナーレ、トリエンナーレなどの名を冠することもある。
アートマネジメント	広義には、文化芸術と社会をつなぎ、文化芸術の社会普及を図ること、狭義には、文化芸術活動の管理・運営や文化芸術団体の組織経営、そのために必要な知識・技術、方法論（企画、マーケティング・資金調達、営業・渉外・広報等のスキルやノウハウなど）を指す。
アイデンティティ	自分が自分であること、さらにはそうした自分が、他者や社会から認められているという感覚のことです。
インプロビゼーション	型にとらわれず自由に思うままに作り上げる、作り上げていく動きや演奏、またその手法のこと。インプロヴァイゼーション、アドリブともいう。ただしインプロヴァイゼーションとアドリブを厳密に区別する者もいる。一般には、音楽・ダンス・演劇の世界において使用される語。
エキスパート 【expert】	ある分野に経験を積んで、高度の技術をもっている人。専門家。熟練者。
SDGs（エス・ディー・ジーズ）	「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。そもそもどう発音するかというと、SDGs（エス・ディー・ジーズ）です。時々エス・ディー・ジー・エスと読まれる方がいらっしゃるのですが、最後はGoals（ゴールズ）の略です。
SNS	ソーシャルネットワーキングサービス（Social Networking Service）の略で、インターネット上のコミュニティサイトのことです。
越後妻有アートトリエンナーレ	新潟県『越後妻有』の広大な里山を舞台に20年続く芸術祭。通年で美術展やイベントを行なっており、3年ごとにトリエンナーレを開催している。
NPO法人	「特定非営利活動法人」と呼ばれ、株式会社や合同会社と同じ法人団体の一種です。
NPO法人「プラッツ」	「豊岡市民プラザ」の指定管理者として、文化芸術創造活動・市民活動に関する事業を行い、市民活動支援を通して、市民の笑顔が輝く、元気なまちづくりに取り組

	んでいる。
オルタナティブ・スペース	芸術表現の多様化や複合化等により、在来の美術館や博物館に対する代替として設けられた展示スペースのこと。1960年代末のニューヨークが発祥とされる。倉庫や工場等既存の大規模施設を転用したものは、現代アートやパフォーマンスを展示・実演する場として活用されることが多い。
ガバメント	国家の「政府」、または各地方公共団体などの「行政府」、および「統治者」を意味する語。
可児市文化創造センターala	岐阜県可児市にある文化普及支援施設である。指定管理者制度により公益財団法人可児市文化芸術振興財団が管理運営を行なっている。
キーフレーズ	「key=鍵、手がかり」と「phrase=句、フレーズ」が合わさった言葉であり、検索するときに入力する2つ以上の単語のことを指します。
キーワード	問題の解明や内容の理解の上で、重要な手掛かりとなる語
城崎国際アートセンター（KIAC）	兵庫県豊岡市の温泉街に位置する舞台芸術のための滞在型の創作施設です。旧・城崎大会議館をリニューアルして2014年にオープンしたこの施設は、ホールに6つのスタジオ、最大22名が宿泊可能なレジデンスやキッチンなどで構成され、アーティストが城崎のまちに暮らすように滞在し、創作に集中することのできる施設として、開館以来高い評価を受けている。
キャッチコピー	主に商品や作品の広告など、何らかの告知や宣伝に用いられ、謳い文句や煽り文句となる文章で、広告コピー（広告文）の一部である。
キュレーター	一般に「学芸員（学術・芸術に関する資料の収集・保管、展示、調査研究等を行う専門職員）」と訳されるが、ここでは「展覧会等の企画者」という意味で用いている。我が国のキュレーター（学芸員）は、欧米の美術館・博物館では別の職種（資料の履歴管理を担うレジストラ、教育普及を担うエデュケーター等）が行う専門業務を兼ねることが多い。一方で、欧米のキュレーターは、上記の専門業務を行う職員より上位の研究・管理職として一般に位置付けられている。
グループワーク	数人ずつのグループに分かれて、討論や制作などを行う授業方法のことです。
芸術文化振興基金	独立行政法人日本芸術文化振興会に設けられた基金で、政府から出資された541億円と民間からの出せん金112億円の計653億円を原資として、その運用益をもって我が国の文化芸術活動に対する助成を行うためのもの。独立行政法人日本芸術文化振興会が、基金の運用、助成対象活動の募集・決定・交付を実施。
現代アート	受動的でなく能動的に疑問を持つことで完成する、鑑賞者とアーティストとの対話です。作品に疑問を持つことで完成するアートです。
国際芸術交流支援事業	我が国と外国との二国間における芸術交流や我が国と海外の優れた芸術団体の共同制作公演、海外のフェスティバル等への参加を支援する文化庁の事業。
コミュニケーション	社会生活を営む人間の間で行われる知覚・感情・思考の

	伝達。動物個体間での、身振りや音声・匂い等による情報の伝達。
コミュニティ	英語で「共同体」や「地域社会」を意味する語である。I
コモンズ	草原、森林、牧草地、漁場などの資源の共同利用地のこと。地球環境問題への対応が求められる中、グローバル・コモンズ(global commons)たる地球環境の保全にも示唆を与える営みとして、再び脚光を浴びている。近年では、自然環境や自然資源そのものを指すというよりも、それぞれの環境資源がおかれた諸条件の下で、持続可能な様式で利用・管理・維持するためのルール、制度や組織であると把握されている。
コンサル	コンサルティングを行うことを業としている個人もしくは法人のこと。
コンテンツ産業	一般的に、コンテンツとは「様々なメディア上で流通する、映像・音楽・ゲーム・図書など、動画・静止画・音声・文字・プログラムなどの表現要素によって構成される情報の内容」と定義され、コンテンツ産業とは、情報の内容によって対価を産み出す産業とされる。
サイト・スペシフィック	芸術作品やプロジェクトの性質を表わす用語で、その場所に帰属する作品や置かれる場所の特性を活かした作品、あるいはその性質や方法を指す。
視覚的思考法 (Visual Thinking Strategy)	美術作品を見て、考え、それを言葉にして他者との対話を図り、作品への理解を深めることを目的とする美術鑑賞教育の一手法で、米国の認知心理学者アビゲイル・ハウゼンが提唱した。
シティプロモーション	一般的には「地域の魅力を内外に発信し、その地域へヒト・モノ・カネを呼び込み地域経済を活性化させる活動」
シビックプライド	都市に対する市民の誇りを指す言葉。「郷土愛」「まち自慢」など、単に愛着を示す言葉とはニュアンスが異なり、「この都市をより良い場所にするために自分自身が関わっている」「自分がこの都市の未来をつくっている」という当事者意識を伴う自負心のことをいう。
スタディツアー	活動の現場を訪れ、現地の視察や見学を行うことを目的とするツアーのことです。
創造産業	創造産業 (creative industries) については、英国 (文化・メディア・スポーツ省) による「個々人の創造性や技能、才能に基づくものであり、知的財産の生成及び利用を通して雇用と富を創出する可能性を有する産業」との定義が最も一般的である。対象となる産業分野について、例えば同国では13分野 (①広告、②建築、③美術・骨董品、④工芸、⑤デザイン、⑥デザイナーファッション、⑦映画・ビデオ、⑧コンピューター・ゲーム、⑨音楽、⑩舞台芸術、⑪出版、⑫ソフトウェア、⑬テレビ・ラジオ)、シンガポールでは大きく4分野 (①芸術、②メディア、③デザイン、④IT・ソフトウェア) に分類している。一般的に、コンテンツとは「様々なメディア上で流通する、映像・音楽・ゲーム・図書など、動画・静止画・音声・文字・プログラムなどの表現要素によって構成される情報の内容」と定義され、コンテンツ産業とは、情報の内容によって対価を産み出す産業とされ

	る。
創造都市	文化芸術の視点から都市の潜在力を喚起し、地域資源を生かして創造的に都市の振興を図る取組。文化庁では、文化芸術のもつ創造性を産業振興、地域振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む「文化芸術創造都市」の取組を支援している。また、ユネスコ（国連教育科学文化機関）が、クリエイティブ・シティーズ・ネットワーク事業を実施している。
ダイバーシティ	自分の意思で変えることができない生来のもの、あるいは自分の意思で変えることが困難な属性を意味する。
丹後学	京丹後市小中一貫教育のモデルカリキュラムのこと。
丹後弁	京都府北部の丹後地方で話される日本語の方言。
地域アイデンティティ	地域の独自性を高め、表現することにより、その地域の活性化を図ることをいう。町おこしや村お越しという言葉に象徴される。地域の独自性を実体化すると共に、地域内外への情報発信を行なう。
地域通貨	特定の地域やコミュニティ内で、モノやサービスとの交換のために使用できる通貨である。
地産地消	地産地消とは、地域生産・地域消費の略語で、地域で生産された様々な生産物や資源（主に農産物や水産物）をその地域で消費することである。
テンポラリー	一時的な、暫定の、臨時的、仮の、儂い、などの意味を持つ英単語。
パブリックコメント	国の行政機関が政令や省令等を定めようとする際に、事前に、広く一般から意見を募り、その意見を考慮することにより、行政運営の公正さの確保と透明性の向上を図り、国民の権利利益の保護に役立てることを目的として行うもの。
パブリックビューイング	スポーツ競技やコンサート等のイベントにおいて、スタジアムや街頭などにある大型の映像装置を利用して観戦・観覧を行うイベントのことである。
パフォーミングアーツ	一般的には舞台芸術と訳され、演劇、ダンスなど個人あるいは集団での行為を作品とする芸術表現。
バリューチェーン（価値連鎖）	企業の様々な活動が最終的な付加価値にどのように貢献しているのか、その量的・質的な関係を鳥瞰するのに便利なツール。
ビエンナーレ、トリエンナーレ	イベント型美術展、アートフェスティバルのうち、2年に1回開催されるものを「ビエンナーレ」、3年に1回開催されるものを「トリエンナーレ」と呼ぶ。世界で最も歴史のあるベネチア・ビエンナーレは1895年以来ほぼ2年に1回開催されている。
ファシリテーション	会議等の場で、発言や参加を促したり、話の流れを整理したり、参加者の認識の一致を確認したりする行為で介入し、合意形成や相互理解をサポートすることにより、組織や参加者の活性化、協働を促進させるリーダーの持つ能力のひとつ。
フィードバック	目標達成に向けたアクションの軌道修正をしたり動機付けをしたりするために、口頭もしくは文章を用いて行われる教育や指摘、あるいは評価のことをいいます。

フィールドワーク	ある調査対象について学術研究をする際に、そのテーマに即した場所を実際に訪れ、その対象を直接観察し、関係者には聞き取り調査やアンケート調査を行い、そして現地での史料・資料の採取を行うなど、学術的に客観的な成果を挙げるための調査技法である。地学や地理学では巡検ともいう。
プラットフォーム	システムやサービス」の「土台や基盤となる環境」のこと。
ブレーストローミング	一種のアイデアを生み出す「集団発想法」手法であり、複数人で会議の際にアイデアを出し合っってブレストを活用して、アイデアや発想の整理する事をメインとして活用されています。
プロジェクト	何らかの目標を達成するための計画を指す。基本的に集団で大がかりに実行するものを指す。
プロセス	物事を進める一連の流れのことです。その流れの途中にある「過程」や、「経過」等も「プロセス」という言葉で表されるため、「プロセス」は幅広い意味を表す単語です。
文化芸術振興基本法	我が国の文化行政の基本法として、文化芸術振興の基本理念や各分野の振興に関する基本施策などを定めている。議員立法により成立し、平成13年12月7日に公布・施行された。なお、「文化芸術の振興に関する基本方針（閣議決定）」は本法第7条に基づき策定されるもの。
文化財保護法	文化財の保護及びその活用を図り、国民の文化的向上に資すること等を目的とする法律。文化財のうち重要なものについて、文化審議会の答申を受けて文部科学大臣が指定・選定等を行い、国宝、重要文化財、史跡、名勝、天然記念物等として、国による重点的な保護の対象としている。指定・選定等された文化財については、現状変更等の一定の制限が課される一方、保存修理等のため国が必要な助成措置を講じている。
文化的コモンズ	地域の共同体の誰もが自由に参加できる入会地のような文化的営みの総体
ベクトル	「大きさと向きを持つ量」を意味する言葉で、物事や考え方の向いている方向などを指し示す時に使われ、抽象的な意味も持っている。
マッチンググラント	民間からの寄附金と公的助成金を組み合わせることにより、文化芸術活動等を支援する仕組み。例えば、米国の全米芸術基金（NEA）においては、文化芸術団体等に助成を行う際に、それと同額又は一定割合を乗じた額を、民間企業や財団、個人から資金調達することを義務付けている。
ライブハウス	ロックやジャズなどのライブやその他イベントを行う、比較的小型で立ち見中心のコンサートホール、または可動式テーブル席を置く飲食店のこと。
リノベーション	「革新、刷新、修復」という意味です。リノベーションは大がかりな改修を施して、新たな機能や付加価値を加えることを指していて、「リフォーム前より住居の性能や価値を向上させること」を目的に行うのがリノベーションです。
roots 京丹後市未来チ	京丹後市峰山町にあり、高校生や地域の人が主体的であ

チャレンジ交流センター	ることや、その人自身でいられることを大切にした居場所づくりをしています。
「歴史文化基本構想」	指定文化財のみならず地域の身近な文化財をその周辺環境も含め総合的にとらえ、保存・活用していくための基本的な方針（文化審議会文化財分科会企画調査会報告書（平成19年10月）において提言）。各市町村において、住民などの参画を得て策定する。
歴史まちづくり法	正式名称は、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」。文化財行政とまちづくり行政が連携し、地域における歴史的風致（固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動とその活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境）を後世に継承するまちづくりの取組を国が支援するもの。
ロードマップ	具体的な達成目標を掲げた上で、目標達成の上でやらねばならないこと、困難なことを列挙し、優先順位を付けた上で達成までの大まかなスケジュールの全体像を、時系列で表現した書物である。
ロジスティクス	もともと軍隊用語で兵站（へいたん）と訳される。作戦計画に従って兵器や兵員を確保し、管理し、補給するまでの全ての活動を言う。
ユーチューブ 【YouTube】	インターネット上で動画共有サービスを行う米国の企業。また、同社のサービス。音声付きの動画を自由に投稿・閲覧することができる。2005年に設立。
ユニバーサルデザイン	「ユニバーサル」＝「普遍的な、全体の」という言葉が示しているように、「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無、体格、性別、国籍などにかかわらず、できるだけ多くの人にわかりやすく、最初からできるだけ多くの人々が利用可能であるようにデザインすることをいう。